

プログラムの概要

プログラムの名称：国立病院機構埼玉病院臨床研修プログラム 基本コース

プログラム責任者：上牧 勇

プログラムの目標

現在の日本社会で求められる医師として、プライマリーケアが実践できるようになるために、基本的臨床能力を修得する。具体的には、内科系で一人日当直しても、日常よく遭遇する疾患の初期診療や重症度に応じた適切な対応ができる臨床レベルに到達し、研修終了後は円滑に後期研修に進むことができる診療能力の修得を目標とする。

プログラムの基本

必修科目として内科系8か月間、麻酔科2か月間、産婦人科、外科、小児科は最短1か月の研修を必修とする。1年目は、内科系8か月と麻酔科2か月で研修を行う。救急、産婦人科、外科、小児科は1年目または、2年目の前半で研修する。救急については、救急外来での1ヶ月の研修及びオリエンテーション後2年間の日当直（月4回として、96回～104回で3か月間に相当）で研修する。2年目に1か月間の地域医療研修を診療所等で実施し、9か月間を研修医自身が希望する選択科目に充てる。内科系、麻酔科については、1年目に研修することを基本とする。また、各科別プログラムとは別に、全科共通の臨床医として当然身につけておくべき医療の基本を、共通プログラムとして研修する。

定員：1学年12名、2学年合わせて24名

開始日：採用年4月1日

終了日：翌々年3月31日

研修日程の1例

1年目	内科系 8か月			麻酔科 2か月	産婦 人科 1か月	外科 1か月
2年目	救 急	小児 科 1か月	選択科目 9か月			地 域